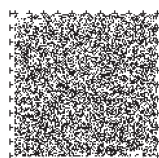
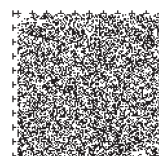


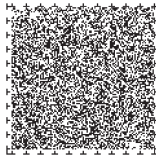
3. 精神障害者保健福祉手帳障害等級判定基準表

障害等級	障害の状態	
	精神疾患（機能障害）の状態	能力障害（活動制限）の状態
1 級 (精神障害であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの)	<ol style="list-style-type: none"> 1.統合失調症によるものにあつては、高度の残遺状態又は高度の病状があるため、高度の人格変化、思考障害、その他妄想・幻覚等の異常体験があるもの 2.気分(感情)障害によるものにあつては、高度の気分、意欲・行動及び思考の障害の病相期があり、かつ、これらが持続したり、ひんぱんに繰り返したりするもの 3.非定型精神病によるものにあつては、残遺状態又は病状が前記1、2に準ずるもの 4.てんかんによるものにあつては、ひんぱんに繰り返す発作又は知能障害その他の精神神経症状が高度であるもの 5.中毒精神病によるものにあつては、認知症その他の精神神経症状が高度のもの 6.器質性精神障害によるものにあつては、記憶障害、遂行機能障害、注意障害、社会的行動障害のいずれかがあり、そのうちひとつ以上が高度のもの 7.発達障害によるものにあつては、その主症状とその他の精神神経症状が高度のもの 8.その他の精神疾患によるものにあつては、上記の1～7に準ずるもの 	<ol style="list-style-type: none"> 1.調和のとれた適切な食事摂取ができない。 2.洗面、入浴、更衣、清掃等の身の清潔保持ができない。 3.金銭管理能力がなく、計画的で適切な買物ができない。 4.通院・服薬を必要とするが、規則的に行うことができない。 5.家族や知人・近隣等と適切な意思伝達ができない。協調的な対人関係を作れない。 6.身の安全を保持したり、危機的状況に適切に対応できない。 7.社会的手続をしたり、一般の公共施設を利用することができない。 8.社会情勢や趣味・娯楽に関心がなく、文化的社会的活動に参加できない。 (上記1～8のうちいくつかに該当するもの)
2 級 (精神障害であって、日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの)	<ol style="list-style-type: none"> 1.統合失調症によるものにあつては、残遺状態又は病状があるため、人格変化、思考障害、その他の妄想・幻覚等の異常体験があるもの 2.気分(感情)障害によるものにあつては、気分、意欲・行動及び思考の障害の病相期があり、かつ、これらが持続したり、ひんぱんに繰り返したりするもの 3.非定型精神病によるものにあつては、残遺状態又は病状が前記1、2に準ずるもの 4.てんかんによるものにあつては、ひんぱんに繰り返す発作又は知能障害その他の精神神経症状があるもの 5.中毒精神病によるものにあつては、認知症その他の精神神経症状があるもの 6.器質性精神障害によるものにあつては、記憶障害、遂行機能障害、注意障害、社会的行動障害のいずれかがあり、そのうちひとつ以上が中等度のもの 7.発達障害によるものにあつては、その主症状が高度であり、その他の精神神経症状があるもの 8.その他の精神疾患によるものにあつては、上記の1～7に準ずるもの 	<ol style="list-style-type: none"> 1.調和のとれた適切な食事摂取は援助なしにはできない。 2.洗面、入浴、更衣、清掃等の身の清潔保持は援助なしにはできない。 3.金銭管理や計画的で適切な買物は援助なしにはできない。 4.通院・服薬を必要とし、規則的に行うことは援助なしにはできない。 5.家族や知人・近隣等と適切な意思伝達や協調的な対人関係づくりは援助なしにはできない。 6.身の安全保持や危機的状況での適切な対応は援助なしにはできない。 7.社会的手続や一般の公共施設の利用は援助なしにはできない。 8.社会情勢や趣味・娯楽に関心が薄く、文化的社会的活動への参加は援助なしにはできない。 (上記1～8のうちいくつかに該当するもの)



障害等級	障害の状態	
	精神疾患（機能障害）の状態	能力障害（活動制限）の状態
3 級 (精神障害であって、日常生活もしくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活もしくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統合失調症によるものにあつては、残遺状態又は病状があり、人格変化の程度は著しくはないが、思考障害、その他妄想・幻覚等の異常体験があるもの 2. 気分(感情)障害によるものにあつては、気分、意欲・行動及び思考の障害の病相期があり、その症状は著しくはないが、これを持続したり、ひんぱんに繰り返すもの 3. 非定型精神病によるものにあつては、残遺状態又は病状が前記 1、2 に準ずるもの 4. てんかんによるものにあつては、発作又は知能障害その他の精神神経症状があるもの 5. 中毒精神病によるものにあつては、認知症は著しくはないが、その他の精神神経症状があるもの 6. 器質性精神障害によるものにあつては、記憶障害、遂行機能障害、注意障害、社会的行動障害のいずれかがあり、いずれも軽度のもの 7. 発達障害によるものにあつては、その主症状とその他の精神神経症状があるもの 8. その他の精神疾患によるものにあつては、上記の 1～7 に準ずるもの 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調和のとれた適切な食事摂取は自発的に行うことができるがなお援助を必要とする。 2. 洗面、入浴、更衣、清掃等の身の清潔保持は自発的に行うことができるがなお援助を必要とする。 3. 金銭管理や計画的で適切な買物はおおむねできるがなお援助を必要とする。 4. 規則的な通院・服薬はおおむねできるがなお援助を必要とする。 5. 家族や知人・近隣等と適切な意思伝達や協調的な対人関係づくりはなお十分とはいえ不安定である。 6. 身の安全保持や危機的状況での対応はおおむね適切であるが、なお援助を必要とする。 7. 社会的な手続や一般の公共施設の利用はおおむねできるが、なお援助を必要とする。 8. 社会情勢や趣味・娯楽に関心はあり、文化的社会的活動にも参加するが、なお十分とはいえ援助を必要とする。 (上記 1～8 のうちいくつかに該当するもの)





4. 所得制限基準額－手当、医療費助成、福祉タクシー、自動車燃料費助成 (令和7年1月現在)

(障害福祉課)

	所得者		手当月額 (円)	本人の所得限度額 (千円)					配偶者又は扶養義務者の所得限度額 (千円)					
	扶養者数	制度		0人	1人	2人	3人	4人	0人	1人	2人	3人	4人	
I	特別障害者手当等 (国)													
	特別障害者手当		28,840	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124	6,287	6,536	6,749	6,962	7,175	
	障害児福祉手当 経過的福祉手当		15,690 15,690											
II	心身障害者福祉手当 (区)													
	身障手帳 1～2級 愛の手帳 1～3度		15,500	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124						
	身障手帳 3級 愛の手帳 4度		7,750											
III	難病患者福祉手当		15,500	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124	20歳未満の場合、扶養義務者の所得限度額 (千円)					
IV	重度心身障害者手当		60,000	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124	
	福祉タクシー 自動車燃料費助成		4,000 (上限) 2,200	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124						
VI	㊦ 心身障害者医療費助成		—	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124	20歳未満の場合、国保世帯主、 社保被保険者の所得限度額 (千円)					
				3,604	3,984	4,364	4,744	5,124	3,604	3,984	4,364	4,744	5,124	

(注) ①特別障害者手当等は、所得限度額以上のときは、支給停止。それ以外の手当等については、所得限度額を超えた場合は資格喪失。資格喪失された方の年間所得が、所得限度額内になった時は、改めて、申請する必要があります。

②「扶養親族等の中に、特定扶養親族がいるときは、一定額を所得限度額に加算できる」等の取扱いがあります。また、総所得金額等から各種の控除が認められていますので、詳細はお尋ねください。

③何年度の所得を確認するかは、手当等により異なります。1月1日以降に台東区に転入された方は1月1日時点での住所登録地で所得を証明する書類を取り、台東区に提出していただく必要があります。詳しくは各事業の担当窓口までお問合せください。

④年度の切替時期は、特別障害者手当等 (国)、心身障害者福祉手当 (区)、難病患者福祉手当は8/1、重度心身障害者手当は1/1、福祉タクシー、自動車燃料費助成は10/1、㊦心身障害者医療費助成は9/1となっております。

(子育て・若者支援課)

所得者 扶養者数 制度	手当月額 (円)	本人の所得限度額 (千円)					配偶者又は扶養義務者の所得限度額 (千円)				
		0人	1人	2人	3人	4人	0人	1人	2人	3人	4人
Ⅶ 特別児童扶養手当	重度 55,350 中度 36,860	4,676	5,056	5,436	5,816	6,196	6,367	6,616	6,829	7,042	7,255
Ⅷ 児童扶養手当	全部支給 45,500 一部支給 10,740～45,490	770	1,150	1,530	1,910	2,290	2,440	2,820	3,200	3,580	3,960
Ⅸ 児童育成手当 (障害手当)	15,500	3,684	4,064	4,444	4,824	5,204					
Ⅹ 児童育成手当 (育成手当)	13,500										
Ⅺ ひとり親家庭等 医療費助成 (○) 医療証)	—	2,160	2,540	2,920	3,300	3,680	2,440	2,820	3,200	3,580	3,960

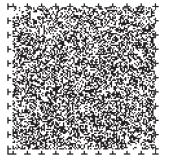
(注) ① 社会保険料相当額 (8万円) は加算済み

② 所得限度額以上のときは支給停止。ただし、総所得金額等から各種の控除が認められていますので、詳細はお尋ねください。

5. 年金所得制限基準額 (初診日が 20 歳前による障害基礎年金・特別障害給付金) (令和3年10月からの額)

制度	扶養者数	本人の所得限度額 (千円)				
		0人	1人	2人	3人	4人
障害基礎年金	一部支給停止	3,704	4,084	4,464	4,844	5,224
特別障害給付金	全部支給停止	4,721	5,101	5,481	5,861	6,241

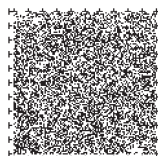
※ 老人扶養・特定扶養親族等がいる時は、別の基準となります。



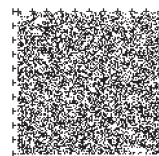
6. 難病患者福祉手当（難病医療費助成）の対象疾病一覧（50音順）

国の指定難病（341疾病）

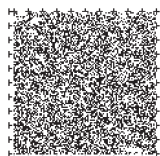
あ	アイカルディ症候群	か	潰瘍性大腸炎
	アイザックス症候群		下垂体性ADH分泌異常症
	亜急性硬化性全脳炎		下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症
	悪性関節リウマチ		下垂体性成長ホルモン分泌亢進症
	アジソン病		下垂体性TSH分泌亢進症
	アッシャー症候群		下垂体性PRL分泌亢進症
	アトピー性脊髄炎		下垂体前葉機能低下症
	アペール症候群		家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）
	アラジール症候群		家族性地中海熱
	アルポート症候群		家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）
	アレキサンダー病		家族性良性慢性天疱瘡
	アンジェルマン症候群		カナバン病
	アントレー・ビクスラー症候群		化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
	い		イソ吉草酸血症
一次性ネフローゼ症候群		ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	
一次性膜性増殖性糸球体腎炎		カルニチン回路異常症	
遺伝性自己炎症疾患		肝型糖原病	
遺伝性ジストニア		間質性膀胱炎（ハンナ型）	
遺伝性周期性四肢麻痺		環状20番染色体症候群	
遺伝性腭炎		完全大血管転位症	
遺伝性鉄芽球性貧血		眼皮膚白皮症	
う	ウィーバー症候群	き	偽性副甲状腺機能低下症
	ウィリアムズ症候群		ギャロウェイ・モフト症候群
	ウィルソン病		球脊髄性筋萎縮症
	ウエスト症候群		急速進行性糸球体腎炎
	ウェルナー症候群		強直性脊椎炎
	ウォルフラム症候群		巨細胞性動脈炎
	ウルリッヒ病		巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）
え	エーラス・ダンロス症候群	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	
	エプスタイン症候群	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
	エプスタイン病	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	
	エマヌエル症候群	筋萎縮性側索硬化症	
	遠位型ミオパチー	筋型糖原病	
お	黄色靭帯骨化症	筋ジストロフィー	
	黄斑ジストロフィー	く	クッシング病
	大田原症候群		クリオピリン関連周期熱症候群
	オクシピタル・ホーン症候群		クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
オスラー病	クルーゾン症候群		
か	カーニー複合	グルコーストランスポーター1欠損症	
	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	グルタル酸血症1型	



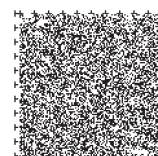
く	グルタル酸血症 2 型	し	シェーグレン症候群
	クローウ・深瀬症候群		色素性乾皮症
	クローン病		自己貪食空胞性ミオパチー
	クロンカイト・カナダ症候群		自己免疫性肝炎
け	痙攣重積型（二相性）急性脳症	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	
	結節性硬化症	自己免疫性溶血性貧血	
	結節性多発動脈炎	シトステロール血症	
	血栓性血小板減少性紫斑病	シトリン欠損症	
	限局性皮質異形成	紫斑病性腎炎	
	原発性高カイロミクロン血症	脂肪萎縮症	
	原発性硬化性胆管炎	若年性特発性関節炎	
	原発性抗リン脂質抗体症候群	若年発症型両側性感音難聴	
	原発性側索硬化症	シャルコー・マリー・トゥース病	
	原発性胆汁性胆管炎	重症筋無力症	
	原発性免疫不全症候群	修正大血管転位症	
	顕微鏡的多発血管炎	ジューベール症候群関連疾患	
	こ	高 IgD 症候群	シュワルツ・ヤンペル症候群
好酸球性消化管疾患		徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		神経細胞移動異常症	
好酸球性副鼻腔炎		神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	
抗糸球体基底膜腎炎		神経線維腫症	
後縦靭帯骨化症		神経有棘赤血球症	
甲状腺ホルモン不応症		進行性核上性麻痺	
拘束型心筋症		進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	
高チロシン血症 1 型		進行性骨化性線維異形成症	
高チロシン血症 2 型		進行性多巣性白質脳症	
高チロシン血症 3 型		進行性白質脳症	
後天性赤芽球癆		進行性ミオクローヌステんかん	
広範脊柱管狭窄症		心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	
膠様滴状角膜ジストロフィー		心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	
コケイン症候群		す	スタージ・ウェーバー症候群
コステロ症候群			スティーヴンス・ジョンソン症候群
骨形成不全症			スミス・マギニス症候群
コフィン・シリス症候群		せ	脆弱 X 症候群
コフィン・ローリー症候群			脆弱 X 症候群関連疾患
混合性結合組織病			成人発症スチル病
さ	鰓耳腎症候群		脊髄空洞症
	再生不良性貧血		脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く）
	再発性多発軟骨炎		脊髄髄膜瘤
	左心低形成症候群		脊髄性筋萎縮症
	サルコイドーシス		セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症
	三尖弁閉鎖症	前眼部形成異常	
	三頭酵素欠損症	全身性アミロイドーシス	



せ	全身性エリテマトーデス	ち	チャージ症候群
	全身性強皮症		中隔視神経形成異常症 / ドモルシア症候群
	先天異常症候群		中毒性表皮壊死症
	先天性横隔膜ヘルニア		腸管神経節細胞僅少症
	先天性核上性球麻痺		て 低ホスファターゼ症
	先天性気管狭窄症 / 先天性声門下狭窄症		天疱瘡
	先天性魚鱗癬		と 特発性拡張型心筋症
	先天性筋無力症候群		特発性間質性肺炎
	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) 欠損症		特発性基底核石灰化症
	先天性三尖弁狭窄症		特発性血小板減少性紫斑病
	先天性腎性尿崩症		特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る)
	先天性赤血球形成異常性貧血		特発性後天性全身性無汗症
	先天性憎帽弁狭窄症		特発性大腿骨頭壊死症
	先天性大脳白質形成不全症		特発性多中心性キャッスルマン病
	先天性肺静脈狭窄症		特発性門脈圧亢進症
	先天性副腎低形成症		ドラベ症候群
	先天性副腎皮質酵素欠損症		な 中條・西村症候群
	先天性ミオパチー		那須・ハコラ病
	先天性無痛無汗症		軟骨無形成症
	先天性葉酸吸収不全		難治頻回部分発作重積型急性脳炎
線毛機能不全症候群 (カルタゲナー症候群を含む。)	に 乳幼児肝巨大血管腫		
前頭側頭葉変性症	尿素サイクル異常症		
そ	早期ミオクロニー脳症	ぬ ヌーナン症候群	
	総動脈幹遺残症	ね ネイルパテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群) / LMX 1 B 関連腎症	
	総排泄腔遺残	ネフロン癆	
	総排泄腔外反症	の 脳クレアチン欠乏症候群	
	ソトス症候群	脳腱黄色腫症	
た	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	脳内鉄沈着神経変性症	
	第 1 4 番染色体父親性ダイソミー症候群	脳表ヘモジデリン沈着症	
	大脳皮質基底核変性症	膿疱性乾癬 (汎発型)	
	大理石骨病	嚢胞性線維症	
	高安動脈炎	は パーキンソン病	
	多系統萎縮症	バージャー病	
	タナトフォリック骨異形成症	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症	
	多発血管炎性肉芽腫症	肺動脈性肺高血圧症	
	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	肺胞蛋白症 (自己免疫性又は先天性)	
	多発性嚢胞腎	肺胞低換気症候群	
	多脾症候群	ハッチンソン・ギルフォード症候群	
	タンジール病	バッド・キアリ症候群	
	単心室症	ハンチントン病	
	弾性線維性仮性黄色腫	ひ 非ケトーシス型高グリシン血症	
	胆道閉鎖症	肥厚性皮膚骨膜炎	
ち	遅発性内リンパ水腫	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	



ひ	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	み	ミトコンドリア病
	肥大型心筋症	む	無虹彩症
	ビタミンD依存性くる病 / 骨軟化症		無脾症候群
	ビタミンD抵抗性くる病 / 骨軟化症		無βリポタンパク血症
	左肺動脈右肺動脈起始症	め	メープルシロップ尿症
	ビッカースタッフ脳幹脳炎		メチルグルタコン酸尿症
	非典型溶血性尿毒症症候群		メチルマロン酸血症
	非特異性多発性小腸潰瘍症		メビウス症候群
	皮膚筋炎 / 多発性筋炎		メンケス病
	表皮水疱症	も	網膜色素変性症
ヒルシュスプルング病 (全結腸型又は小腸型)	もやもや病		
ふ	ファイファー症候群		モワット・ウィルソン症候群
	ファロー四徴症	や	ヤング・シンプソン症候群
	ファンコニ貧血	ゆ	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
	封入体筋炎	ら	ライソゾーム病
	フェニルケトン尿症		ラスムッセン脳炎
	複合カルボキシラーゼ欠損症		ランドウ・クレフナー症候群
	副甲状腺機能低下症	り	リジン尿性蛋白不耐症
	副腎白質ジストロフィー		両大血管右室起始症
	副腎皮質刺激ホルモン不応症		リンパ管腫症 / ゴーハム病
	ブラウ症候群		リンパ脈管筋腫症
	プラダー・ウィリ症候群	る	類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む)
	プリオン病		ルビンシュタイン・テイビ症候群
	プロピオン酸血症	れ	レーベル遺伝性視神経症
へ	閉塞性細気管支炎		レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
	ベーチェット病		レット症候群
ベスレムミオパチー			レノックス・ガストー症候群
ペリー病	ろ		ロスムンド・トムソン症候群
ペルオキシソーム病 (副腎白質ジストロフィーを除く)		肋骨異常を伴う先天性側弯症	
片側巨脳症	1	1 p 3 6 欠失症候群	
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	2	2 2 q 1 1 . 2 欠失症候群	
ほ	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	4	4 p 欠失症候群
	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5	5 p 欠失症候群
	ホモシスチン尿症	α	α 1-アンチトリプシン欠乏症
	ポルフィリン症	β	β-ケトチオラーゼ欠損症
ま	マリネスコ・シェーグレン症候群	A	A T R - X 症候群
	マルファン症候群 / ロイス・ディーツ症候群	C	C F C 症候群
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多巣性運動ニューロパチー	H	H T L V - 1 関連脊髄症
	慢性血栓性肺高血圧症		H T R A 1 関連脳小血管病
	慢性再発性多発性骨髄炎	I	I g A 腎症
	慢性特発性偽性腸閉塞症		I g G 4 関連疾患
み	ミオクロニー欠神てんかん	M	M E C P 2 重複症候群
	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	P	P C D H 1 9 関連症候群



V	VATER症候群
T	TNF受容体関連周期性症候群
	TRPV 4異常症

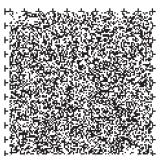
都の指定難病及びその他の疾病（13疾病）

あ	悪性高血圧		・第12因子（ハイグマン因子）欠乏症
い	遺伝性QT延長症候群		・第13因子（フィブリン安定化因子）欠乏症
か	肝内結石症		・フォン・ヴィルブランド病
け	劇症肝炎 ※		・血液凝固因子製剤投与に起因する HIV 感染症
	原発性骨髄線維症	ひ	びまん性汎細気管支炎
こ	古典的特発性好酸球増多症候群	ほ	母斑症（指定難病の結節性硬化症、スタージ・ウェーバー症候群及びクリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群を除く）
し	重症急性膵炎 ※		
	人工透析を必要とする腎不全	も	網膜脈絡膜萎縮症
す	スモン		
せ	先天性血液凝固因子欠乏症等		
	・第1因子（フィブリノゲン）欠乏症		
	・第2因子（プロトロンビン）欠乏症		
	・第5因子（不安定因子）欠乏症		
	・第7因子（安定因子）欠乏症		
	・第8因子欠乏症（血友病A）		
	・第9因子欠乏症（血友病B）		
	・第10因子（スチューアートプラウア）欠乏症		
	・第11因子（PTA）欠乏症		

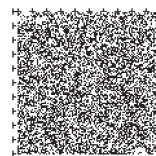
※平成26年12月31日において、医療費助成を受けていた方が対象となる疾病

7. 障害者総合支援法の対象疾病（難病等）一覧（50音順）

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	20	遺伝性自己炎症疾患	39	エマヌエル症候群
2	アイザックス症候群	21	遺伝性ジストニア	40	MECP2重複症候群
3	IgA腎症	22	遺伝性周期性四肢麻痺	41	遠位型ミオパチー
4	IgG4関連疾患	23	遺伝性膵炎	42	円錐角膜
5	亜急性硬化性全脳炎	24	遺伝性鉄芽球性貧血	43	黄色靑帯骨化症
6	アジソン病	25	ウィーバー症候群	44	黄斑ジストロフィー
7	アッシャー症候群	26	ウィリアムズ症候群	45	大田原症候群
8	アトピー性脊髄炎	27	ウィルソン病	46	オクシピタル・ホーン症候群
9	アペール症候群	28	ウエスト症候群	47	オスラー病
10	アミロイドーシス	29	ウェルナー症候群	48	カーニー複合
11	アラジール症候群	30	ウォルフラム症候群	49	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
12	アルポート症候群	31	ウルリッヒ病	50	潰瘍性大腸炎
13	アレキササンダー病	32	HTRA 1関連脳小血管病	51	下垂体前葉機能低下症
14	アンジェルマン症候群	33	HTLV-1関連脊髄症	52	家族性地中海熱
15	アントレー・ビクスラー症候群	34	ATR-X症候群	53	家族性良性慢性天疱瘡
16	インゴ草酸血症	35	ADH分泌異常症	54	カナバン病
17	一次性ネフローゼ症候群	36	エーラス・ダンロス症候群	55	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	37	エプスタイン症候群	56	歌舞伎症候群
19	1p36欠失症候群	38	エプスタイン病	57	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症



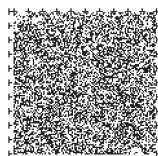
58	カルニチン回路異常症	114	高チロシン血症 3 型	170	スタージ・ウェーバー症候群
59	加齢黄斑変性	115	後天性赤芽球癆	171	スティーブンス・ジョンソン症候群
60	肝型糖尿病	116	広範脊柱管狭窄症	172	スミス・マガニス症候群
61	間質性膀胱炎 (ハンナ型)	117	膠様滴状角膜ジストロフィー	173	スモン
62	環状 20 番染色体症候群	118	抗リン脂質抗体症候群	174	脆弱 X 症候群
63	関節リウマチ	119	コケイン症候群	175	脆弱 X 症候群関連疾患
64	完全大血管転位症	120	コステロ症候群	176	成人発症スチル病
65	眼皮膚白皮症	121	骨形成不全症	177	成長ホルモン分泌亢進症
66	偽性副甲状腺機能低下症	122	骨髄異形成症候群	178	脊髄空洞症
67	ギャロウェイ・モワト症候群	123	骨髄線維症	179	脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を除く)
68	急性壊死性脳症	124	ゴナドトロピン分泌亢進症	180	脊髄髄膜瘤
69	急性網膜壊死	125	5p 欠失症候群	181	脊髄性筋萎縮症
70	球脊髄性筋萎縮症	126	コフィン・シリズ症候群	182	セピアブテリン還元酵素 (SR) 欠損症
71	急速進行性糸球体腎炎	127	コフィン・ローリー症候群	183	前眼部形成異常
72	強直性脊椎炎	128	混合性結合組織病	184	全身性エリテマトーデス
73	巨細胞性動脈炎	129	鯉耳腎症候群	185	全身性強皮症
74	巨大静脈奇形 (頸部口腔咽頭びまん性病変)	130	再生不良性貧血	186	全身異常症候群
75	巨大動静脈奇形 (頸部顔面又は四肢病変)	131	サイトメガロウィルス角膜内皮炎	187	先天性横隔膜ヘルニア
76	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	132	再発性多発軟骨炎	188	先天性核上性球麻痺
77	巨大リンパ管奇形 (頸部顔面病変)	133	左心低形成症候群	189	先天性気管狭窄症/先天性声門下狹窄症
78	筋萎縮性側索硬化症	134	サルコイドーシス	190	先天性魚鱗癬
79	筋型糖尿病	135	三尖弁閉鎖症	191	先天性筋無力症候群
80	筋ジストロフィー	136	三頭酵素欠損症	192	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症
81	クッシング病	137	CFC 症候群	193	先天性三尖弁狭窄症
82	クリオピリン関連週期熱症候群	138	シェーグレン症候群	194	先天性腎性尿崩症
83	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	139	色素性乾皮症	195	先天性赤血球形形成異常性貧血
84	クルーゾン症候群	140	自己貪食空胞性ミオパチー	196	先天性僧帽弁狭窄症
85	グルコーストランスポーター 1 欠損症	141	自己免疫性肝炎	197	先天性大脳白質形成不全症
86	グルタル酸血症 1 型	142	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	198	先天性肺静脈狭窄症
87	グルタル酸血症 2 型	143	自己免疫性溶血性貧血	199	先天性風疹症候群
88	クロウ・深瀬症候群	144	四肢形成不全	200	先天性副腎低形成症
89	クローン病	145	シトステロール血症	201	先天性副腎皮質酵素欠損症
90	クローンカイト・カナダ症候群	146	シトリン欠損症	202	先天性ミオパチー
91	痙攣重積型 (二相性) 急性脳症	147	紫斑病性腎炎	203	先天性無痛無汗症
92	結節性硬化症	148	脂肪萎縮症	204	先天性葉酸吸収不全
93	結節性多発動脈炎	149	若年性特発性関節炎	205	前頭側頭葉変性症
94	血栓性血小板減少性紫斑病	150	若年性肺炎腫	206	線毛機能不全症候群 (カルタゲナー症候群を含む。)
95	限局性皮質異形成	151	シャルコー・マリー・トゥース病	207	早期ミオクローニエー脳症
96	原発性局所多汗症	152	重症筋無力症	208	総動脈幹遺残症
97	原発性硬化性胆管炎	153	修正大血管転位症	209	総排泄腔遺残
98	原発性高脂血症	154	ジュベール症候群関連疾患	210	総排泄腔外反症
99	原発性側索硬化症	155	シュワルツ・ヤンベル症候群	211	ソトス症候群
100	原発性胆汁性胆管炎	156	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	212	ダイアモンド・ブラックファン貧血
101	原発性免疫不全症候群	157	神経細胞移動異常症	213	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群
102	顕微鏡の大腸炎	158	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	214	大脳皮質基底核変性症
103	顕微鏡的多発血管炎	159	神経線維腫症	215	大理石骨病
104	高 IgD 症候群	160	神経フェリチン症	216	ダウン症候群
105	好酸性消化管疾患	161	神経有棘赤血球症	217	高安動脈炎
106	好酸性多発血管炎性肉芽腫症	162	進行性核上性麻痺	218	多系統萎縮症
107	好酸性副鼻腔炎	163	進行性家族性内胆汁うっ滞症	219	タナトフォリック骨異形成症
108	抗糸球体基底膜腎炎	164	進行性骨化性線維異形成症	220	多発血管炎性肉芽腫症
109	後縦帯骨化症	165	進行性多巣性白質脳症	221	多発性硬化症/視神経脊髄炎
110	甲状腺ホルモン不応症	166	進行性白質脳症	222	多発性軟骨性外骨腫症
111	拘束型心筋症	167	進行性ミオクローヌステんかん	223	多発性嚢胞腎
112	高チロシン血症 1 型	168	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	224	多脾症候群
113	高チロシン血症 2 型	169	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	225	タンジール病



番号	疾病名
226	単心室症
227	弾性線維性仮性黄色腫
228	短腸症候群
229	胆道閉鎖症
230	遅発性内リンパ水腫
231	チャージ症候群
232	中隔視神経形成異常症 / ドモルシア症候群
233	中毒性表皮壊死症
234	腸管神経節細胞僅少症
235	TRPV4 異常症
236	TSH 分泌亢進症
237	TNF 受容体関連周期性症候群
238	低ホスファターゼ症
239	天疱瘡
240	特発性拡張型心筋症
241	特発性間質性肺炎
242	特発性基底核石灰化症
243	特発性血小板減少性紫斑病
244	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る)
245	特発性後天性全身性無汗症
246	特発性大腿骨頭壊死症
247	特発性多中心性キャッスルマン病
248	特発性門脈圧亢進症
249	特発性両側性感音難聴
250	突発性難聴
251	ドラベ症候群
252	中條・西村症候群
253	那須・ハコラ病
254	軟骨無形成症
255	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
256	22q11.2 欠失症候群
257	乳幼児肝巨大血管腫
258	尿素サイクル異常症
259	ヌーナン症候群
260	ネイルパテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群) / LMX1B 関連腎症
261	ネフロン癆
262	脳クレアチン欠乏症候群
263	脳髄黄色腫症
264	脳内鉄沈着神経変性症
265	脳表ヘモジデリン沈着症
266	膿疱性乾癬
267	嚢胞性線維症
268	パーキンソン病
269	バージャー病
270	肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症
271	肺動脈性肺高血圧症
272	肺胞蛋白症 (自己免疫性又は先天性)
273	肺胞低換気症候群
274	ハッチンソン・ギルフォード症候群
275	バッド・キアリ症候群
276	ハンチントン病
277	汎発性特発性骨増殖症
278	PCDH19 関連症候群
279	非ケトーシス型高グリシニン血症
280	肥厚性皮膚骨膜炎
281	非ジストロフィー性ミオトニー症候群

番号	疾病名
282	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
283	肥大型心筋症
284	左肺動脈右肺動脈起始症
285	ビタミン D 依存性くる病 / 骨軟化症
286	ビタミン D 抵抗性くる病 / 骨軟化症
287	ピッカースタッフ脳幹脳炎
288	非典型性溶血性尿毒症症候群
289	非特異性多発性小腸潰瘍症
290	皮膚筋炎 / 多発性筋炎
291	びまん性汎細気管支炎
292	肥満低換気症候群
293	表皮水疱症
294	ヒルシスプルング病 (全結腸型又は小腸型)
295	VATER 症候群
296	ファイファー症候群
297	ファロー四徴症
298	ファンコニ貧血
299	封入体筋炎
300	フェニルケトン尿症
301	フォンタン術後症候群
302	複合カルボキシラーゼ欠損症
303	副甲状腺機能低下症
304	副腎白質ジストロフィー
305	副腎皮質刺激ホルモン不応症
306	ブラウ症候群
307	プラダー・ウィリ症候群
308	プリオン病
309	プロピオン酸血症
310	PRL 分泌亢進症 (高プロラクチン血症)
311	閉塞性細気管支炎
312	β -ケトチオラーゼ欠損症
313	パーチェット病
314	ベスレムミオパチー
315	ヘパリン起因性血小板減少症
316	ヘモクロマトーシス
317	ペリー病
318	ペルーシド角膜辺縁変性症
319	ペルオキシソーム病 (副腎白質ジストロフィーを除く)
320	片側巨脳症
321	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
322	芳香族 L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
323	発作性夜間ヘモグロビン尿症
324	ホモシスチン尿症
325	ポルフィリン症
326	マリネスコ・シェーグレン症候群
327	マルファン症候群 / ロイス・ディーツ症候群
328	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多発性運動ニューロパチー
329	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
330	慢性再発性多発性骨髄炎
331	慢性膀胱炎
332	慢性特発性偽性腸閉塞症
333	ミオクロニー欠伸てんかん
334	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
335	ミトコンドリア病
336	無虹彩症
337	無脾症候群

番号	疾病名
338	無 β リポタンパク血症
339	メーブルシロップ尿症
340	メチルグルタコン酸尿症
341	メチルマロン酸血症
342	メビウス症候群
343	メンクス病
344	網膜色素変性症
345	もやもや病
346	モワット・ウイルソン症候群
347	薬剤性過敏症候群
348	ヤング・シンプソン症候群
349	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
350	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
351	4p 欠失症候群
352	ライソゾーム病
353	ラスムッセン脳炎
354	ランゲルハンス細胞組織球症
355	ランドウ・クレフナー症候群
356	リジン尿性蛋白不耐症
357	両側性小耳症・外耳道閉鎖症
358	両大血管右室起始症
359	リンパ管腫症 / ゴーハム病
360	リンパ脈管筋腫症
361	類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む)
362	ルビンスhtayn・テイビ症候群
363	レーベル遺伝性視神経症
364	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
365	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
366	レット症候群
367	レノックス・ガストー症候群
368	ロスムンド・トムソン症候群
369	肋骨異常を伴う先天性側弯症



8. 障害に関するシンボルマーク

マーク	マークの説明	問合せ先
	障害者のための国際シンボルマーク 障害のある方が利用しやすい建築物や公共輸送機関であることを示す、世界共通のマークです。車いすを利用する方だけでなく、障害のある全ての方のためのマークです。	(公財)日本障害者リハビリテーション協会
	盲人のための国際シンボルマーク 世界盲人連合で1984年に制定された世界共通のマークで、視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物・設備・機器などにつけられています。信号や音声案内装置、国際点字郵便物、書籍、印刷物等に使用されています。	(福)日本盲人福祉委員会
	身体障害者標識 (身体障害者マーク) 肢体不自由であることを理由に運転免許に条件を付された方が車に表示するマークです。やむを得ない場合を除き、このマークをつけた車に幅寄せや割り込みを行った場合には、道路交通法違反となります。	各警察署
	聴覚障害者標識 (聴覚障害者マーク) 政令で定める程度の聴覚障害のあることを理由に運転免許に条件を付された方が車に表示するマークです。やむを得ない場合を除き、このマークをつけた車に幅寄せや割り込みを行った場合には、道路交通法違反となります。	各警察署
	耳マーク 聴覚に障害があることを示し、コミュニケーション方法に配慮を求める場合等に使用されているマークです。また、自治体、病院、銀行等が、聴覚障害者に援助をすることを示すマークとしても使用されています。	(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
	手話マーク 聴覚に障害がある方が、手話でのコミュニケーションの配慮を求める場合に提示されるマークです。また、自治体、民間施設、交通機関の窓口などで、手話での対応が可能であることを示すマークとしても使用されています。	(一社)全日本ろうあ連盟
	筆談マーク 聴覚や音声言語機能等に障害がある方などが、筆談でのコミュニケーションの配慮を求める場合に提示されるマークです。また、自治体、民間施設、交通機関の窓口などで、筆談での対応が可能であることを示すマークとしても使用されています。	(一社)全日本ろうあ連盟
	ほじょ犬マーク 身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。補助犬とは盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。身体障害者補助犬法に基づき、不特定多数の方が利用する施設(デパートや飲食店等)では、補助犬の受け入れが義務づけられています。	東京都福祉局障害者施策推進部企画課
	オストメイトマーク オストメイト(人工肛門・人工膀胱を造設した方)を示すシンボルマークです。オストメイト対応のトイレ等の設備があることを示す場合などに使用されています。	(公社)日本オストミー協会
	ハート・プラスマーク 内臓に障害のある方を表しています。心臓疾患等の内部障害・内臓疾患は外見からは分かりにくいので、様々な誤解を受けることがあります。そのような方の存在を視覚的に示し、理解と協力を広げるために作られたマークです。	特定非営利活動法人ハート・プラスの会
	「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク 白杖を頭上50センチメートル程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障害のある方を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。	岐阜市福祉部福祉事務所障がい福祉課
	ヘルプマーク 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。	東京都福祉局障害者施策推進部企画課

